



令和8/春



# 立雲寺 だより



## 住職認証式に出席しました

**立**雲寺では、この度住職が林永祥より林永清へと代替わりいたしました。この場をお借りして改めてご報告させていただきます。

四月十日には日蓮宗総本山である身延山久遠寺において「住職認証式」が執り行われ、新任住職林永清が出仕いたしました。

住職認証式は、宗門より正式に住職として認証を受ける儀式であり、歴代の先師先哲より受け継がれてきた法灯を継承し、一寺院を預かる者としての責任と使命を改めて胸に刻む場でもあります。

法灯とは、立雲寺開山以来、歴代上人方が護り伝えてこられた法華経・お題目の教えと信仰の灯です。それは人から人へ受け継がれてきた仏縁そのものです。新任住職林永清はじめ寺院一同、これからも変わらず信仰を大切に歩んでまいります。

前任住職林永祥も、これまで通り毎月のお参り等もいたしますのでよろしくお願いいたします。

**新任住職よりご挨拶**

この度、兄であります前任住職林永祥より法灯を受け継ぎ、立雲寺住職を拝命いたしました。思い返せば、二十四歳の頃に室蘭へ戻って以来これまで約四十年間、檀信徒の皆さまに支えられながら、今日まで寺の務めに携わってまいりました。

師父であり立雲寺第二世の林立祥が早くに病床に伏し、長年にわたり住職として立雲寺を護り続けてきた兄を見ながら、その重責の大きさを感ずるとともに、この度正式に住職として寺を預かる立場となり、身の引き締まる思いであります。



立雲寺第四世 林永清



### 春の行事予定

- 5月 13日 馬頭祭 並 十三日講
- 6月 6日 鬼子母神祭
- 7月 13日 室蘭艦砲射撃慰霊祭 並 十三日講 第2世 林立祥上人 23回忌

**鬼子母神祭** 場所 立雲寺本堂

令和8年 13時 法話 当山副住職 林 光汰

6月6日(土) 14時 鬼子母神祭

時代が大きく移り変わる今だからこそ、皆さまが安心して手を合わせられる場所として、また心の拠り所として、立雲寺の法灯を大切に護り伝えてまいりたいと思っております。

未熟ではございますが、檀信徒の皆さまとのお縁を大切に、一歩一歩努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

〒050-0086  
北海道室蘭市大沢町 2-4-1

TEL (0143)44-4306

MAIL ritsuunji@gmail.com

立雲寺公式サイト





# 鬼子母神祭

**日時** 令和八年六月六日  
**十三時** 法話(林光汰)  
**十四時** 鬼子母神祭  
**終了後** 直会

**場所** 立雲寺本堂

## 法

華経の守護神であり、日蓮宗ではご祈祷のご本尊として信仰されており、す鬼子母神様の大祭を今年も行います。

立雲寺の鬼子母神祭では、法要前の十三時から立雲寺副住職の林光汰による法話。十四時から法要。「年中特別祈願」「取子祈願」をお申し込みの方は、法要後に特別加持を受けていただきます。法要後は、御齋もご用意しております。

例年通り、周辺の僧侶をお招きしてのご祈祷です。この機会に多数の経力と功德をいただいでほしいと思います。皆様のご参拝をお待ちしております。

## 年中特別祈願

「身体に自信がない方」「病気の方」「霊障を受けやすい方」、また「自身と家族の心身の健康を祈る方」などが、日々心身ともに健康でいられるように、病気の原因が少しでも取り除かれるように、また受けなくても良い病気や災害に見舞われないように、立雲寺本堂にお札を立てて、一年間毎朝のお勤めの際に一人ずつ名前を読み上げてご祈願するのが「年中特別祈願」です。

自分の為、また家族の為に鬼子母神様に手をあわせて祈ることが肝要なご祈願です。我々僧侶もそのような方々が救われるよう、精一杯ご祈願させていただきます。

## 取子祈願

0歳から二十歳までの間、子どもが事故や病気なく健康にすくすくと育つように祈願するのが「取子祈願」です。

「年中特別祈願」と同様、一年間毎朝のお勤めの際に一人ずつ名前を読み上げて祈願いたします。

鬼子母神様は法華経の守護神であると共に「子育て・安産の神様」です。生まれた子どもの発育増進と勉強やスポーツ、習い事が魔事魔障なく順調にいくようご祈願させていただきます。

## 行事報告

一月〜五月

- 1月 御守り作り体験
- 2月 節分析禱会
- 5月 馬頭祭

## 一月 御守り作り体験

新年のスタートに自分の目標を定め、それに向かい努力することを誓い、立雲寺の諸天善神に見守っていただけるようご祈願するのが御守り作り体験です。

今年も午年ですので、午年カラーのお守り袋をご用意しました。参加された皆様は、自信の目標や願い、または御守りを渡す方への思いを御守りに込めて手を合わせておりました。

毎年ご参加くださる方、参加もご祈願も初めてという方、色々な方が来られご縁を感じます。今回参加できなかった方もまた来年お待ちしております。



## 二月 節分析禱会

毎年多くの方が参拝しご祈禱を受けていただく節分析禱会。

旧暦の一年の始めに気持ち新たに、自身を清め、厄災が降りかからぬよう、そしてこの一年がより良きものとなるよう、周辺の僧侶もお招きし多数の経力でご祈禱させていただきました。

恒例の豆まきも大変盛り上がりました。多くの福が皆様が届きますように。



## 五月 馬頭祭

毎年五月十三日、毎月十三日に行う十三日講の際に併せて行う「馬頭観世音菩薩」の大祭です。古くから交通安全、また動物霊を供養する菩薩として信仰され、我々の生活を近くで見守っていただいている馬頭さん。



立雲寺の馬頭さんは新しくできたベツト供養墓の隣に安置しています。日々の感謝と供養を捧げる大祭でした。

このお講は、初代舜祥上人から受け継がれている檀信徒の皆さまとお寺を繋ぐ行事です。日々檀信徒の皆さまが手を合わせて

**気軽にど参加ください**

「十三日講」とは、毎月十三日の十三時から（二・六・八・十・十二月は、行事と合わせて）開催開催しております「お講」です。十三日という日には日蓮聖人がご入滅された十月十三日に合わせた日にちです。

内容は、お経、ご祈祷、簡単な法話、最後に参加された皆さままで直会をして解散します。

**十三日講って？**



**納骨段の電球を LED に変えました。**



これまで電球がすぐに切れたりご不便をおかけしておりました各家納骨段の提灯型電球を LED に変える工事を檀信徒の皆さまからのご寄付の一部にて無事行うことができました。ありがとうございました。

**副住職に次女が誕生しました。**



令和8年1月5日、副住職光汰に次女が誕生しました。希胡(きこ)と申します。よろしくお願いたします。

無事に生まれてきてくれた事に感謝し、寺族一同より一層お寺の務めに励みたいと思います。

長女も3歳になり今年から幼稚園に通っています。お寺の手伝いも少しずつしてくれています。

小さな姉妹をお寺で見かけることもあると思いますので、あたたかく見守っていただけたらと思います。光汰・美沙妃

先祖を思い、そしてご祈祷を受けて厄災を払う。直会の際に日々の悩みをお坊さんに聞いてもらう。普段のお寺の大きな行事とは違いお寺との距離が近く気軽に色々なことを話せるのが十三日講です。

「ちよつとお坊さんに聞きたいことがある」「ご祈祷を受けたい」「お坊さんの話を聞いてみたい」「お経を聞いてみたい」など気軽な理由で構いません。申し込みも不要です。参加された方同士の繋がりがりもでき、様々なご縁を感じられることと思います。

どうぞ一度足を運んでみていただきたいと思います。

**ご祈祷**



日蓮宗のご祈祷は、法華経を信仰することにより現世の安穩大難が小難、小難が無難に転じることを祈ります。

**地鎮祭**

一家の繁栄を祈る



**新** たに家を建てる方の地鎮祭を行いました。

土地の有縁の靈魂に供養を捧げ、土地の神様にこれからここに住むことをご報告し、方位の御守護神のご加護をいただき読経と唱題、木剣修法によって土地を清め、工事の安全と施主一家のこれからの繁栄を祈念しました。

永きにわたって衣食住をする場所を丁寧供養・祈祷いたしました。

新築、また引っ越しの際にご相談ください。

# 心

温まる話題が二つ。  
 一つは、フィギュアスケートの坂本花織選手。坂本選手は大会の最後に氷上で出場選手皆と自撮り写真を撮る際、自分だけが目立つ位置に立つのではなく、周囲の人が皆きれいに写るように少し身を引く、角度を調整する姿が、海外で「なんて思いやりがあるのだ」と話

## 学びの時間



第18回

### 「振る舞い」

文・林永清

林永清（はやし・えいしん）／立雲寺住職。  
 令和3年5月より「立雲寺だより」にて一口法話「学びの時間」を連載開始。

題になったそうです。本人にとっては自然な振る舞いだったのでしようが、その気遣いが新鮮だったようです。  
 もう一つは、海外からの観光客が日本で車を運転していた際、小学生が横断歩道を渡る前に一礼し、渡り終えた後にも再び一礼をする様子が動画サイトで「日本人の礼儀は素晴らしい」と大

きな反響を呼びました。日本人の私たちにとって、どちらも特別なことではないと思います。しかし世界から見ると、それは驚くべき精神文化なのでしょう。自分だけが良ければいいのではなく、相手を立てる。支えてもらったことに感謝を示す。そうした振る舞いは、日本人の中に長く育まれてきたものです。私は、その根底に仏教の教えが流れているように思うのです。仏教は「縁」を大切にします。人は一人で生きていくのではなく、多くの人との関わりの中で生かされている存在です。だからこそ、まず相手を思う心が自然と生まれてくるのでしょうか。

日蓮聖人の説いた「一念三千」は、私たちの一つの心、一つの行いが周囲にも影響していくという教えです。坂本選手の気遣いも、小学生の一礼も、そこに込められた真心は人の心を動かしました。

近頃、日本も随分変わったと言われます。しかし、世界が感心するような優しさや礼節は今も私たちの中に息づいています。手を合わせることは単なる作法ではなく、相手を敬い、自分もまた多くの縁に支えられていることを知る心の姿です。日本人が昔から大切にしてきた心と振る舞いを次の世代へも伝えていきたいものです。

合掌

## 公文書写教室



〈学べる教科〉

- ペン習字
- かきかた
- 筆ペン
- 毛筆

【7月・8月 1日無料体験実施】

学習曜日・時間

月曜日 17:00～20:00

火曜日 14:00～19:00

上記の学習曜日・時間内で、1日のみ無料体験可能

※体験希望の方は

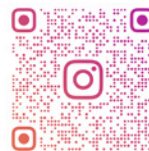
講師 林香織

事前にお問い合わせ下さい

TEL 090-5079-0747

ご相談・ご要望は下記からも可能です

立雲寺 Instagram



RITSUUNJI

立雲寺LINE 公式アカウント



@183iejsa

一人で悩まずまずはご連絡ください。またご意見ご要望があればお気軽にご連絡ください。

七面山山頂の敬慎院  
 隨身門にて。富士山  
 がキレイに見えます。



七面山山頂の入口に立つ和光門にて。

春 念願だった七面山登詣へ  
 秋 行って参りました。当初は頂上の敬慎院に一泊の予定でしたが当日はなんと大雨と雷：やむを得ず次の日、日帰り登山に変更。練習はしていたものの初心者が日帰り登山：無謀な挑戦です。「南無妙法蓮華経」を唱えながら何とか登り、敬慎院にて十分ほどお参りさせて頂いたのですが、戻ってきたのは夕方四時を回ってしまいました。思った以上に厳しく辛いものでしたが、頂上から見る富士山は素晴らしく感動しました。次回は敬慎院に宿泊し、勤行に参列し、ご来光を拝みたいと思っております。(恵)